

令和元年度第2回摂津市男女共同参画推進審議会 要点録

日 時：令和2年2月17日（月）10時～12時

場 所：摂津市役所 本館2階 201会議室

出席者：桂会長、井上副会長、森川委員、藤本委員、上村委員、田口委員
宮田委員、谷田委員、樋野委員、中西委員、井関委員、北川委員

事務局：由井課長、杉本

- 案 件
- 1 令和2年度市民意識調査について
 - 2 第4期摂津市男女共同参画計画について
 - 3 その他

案件1 令和2年度市民意識調査について

- 1) 回答者の属性を問う「あなた自身について」の質問の配置場所について
 - ・ 見慣れているのは最初のような気がする。
 - ・ 最初だと「身元調査」をされているように思われる。
 - ・ 最初だと、自身の性別答えた際に、世間が求める性別役割の先入観を植え付けてしまい、後の調査項目への影響が出てしまうのではないかと思う。
 - ・ 最初だと、LGBT当事者の方が性別欄について答えたくない場合や、性別や年齢で自身をラベリングしてしまう可能性がある。

(結論)

最後に持っていく方向で進める。

2) 性別の問い方について

- ・ 大阪府の調査では、「1男性、2女性、3どちらでもない、4答えたくない」とあるので同じにしたら良い。
- ・ 「1男性、2女性」だけだと、LGBTの方が答えにくく、調査の回答率が下がる可能性がある。
- ・ 庁内で統一の様式があれば、そちらを採用した方が良い。

(結論)

最終的な結論に至っていないため、事務局で検討する。

3) 地域を答えてもらう意味、回答の選択肢

- ・ 「安威川以北、以南」や「校区」までの分け方の意見が出たが、どれも一部の市民にしか分からない問い方なので町名レベルでの質問にしたら良い。
- ・ 「鳥飼地域」「千里丘地域」等と記載したら良い。

(結論)

「〇〇地域」として区分けする。

4) 教育（道徳）への意見・要望

- ・ 男女共同参画について、意識形成段階の子どもの頃からの教育が必要であると考え、そのような質問を行ってほしい。
- ・ ジェンダー視点以前に、「他者を尊重する」視点が大事である。
- ・ いずれの意見も大切な意見であるが、既存の質問へ盛り込んだ方が良い。

（結論）

大切な観点であるが、新規に質問を設けず、既存の質問の選択肢等に盛り込んでいけば良い。

5) 調査の目的について

- ・ この調査は男女共同参画に対しての啓発的なものか、現状を把握するためのものか。
- ・ 市民生活における男女共同参画の達成状況を把握し、どういう取り組みが有効であるかを検討する。この意識調査で現状を知った上で計画を策定し、その計画に沿って男女共同参画センターで講座を開催するなどの取り組みも含め、今後の施策に活かす。

（結論）

現状を把握し、計画を策定するため。

6) 各質問の変更について

（結論）

- ・ 問29、5「女性や高齢者にとって…」を「女性や高齢者、障害者等の介助が必要とされる社会的弱者」へ変更する。（9も、同じ文言だが、障害者や社会的弱者が就労もなく地域に留まっていると捉えられる可能性があるので変更しない。）
- ・ 問18「地域活動」と「個人の生活」が同じ分類をされているが、「地域活動」は強制的に参加させられている地域の活動の様で違和感があるので「地域活動」の文言をなくす。

案件2 第4期摂津市男女共同参画計画について

- ・ 令和2年度に「市民意識調査」、令和3年度に「計画策定」を行う。

案件3 その他

今後のスケジュール（令和2年度）

- ・ 市民意識調査を実施する委託業者が決定後、調査票を作成し、各委員へ調査票を郵送する。意見・要望があれば、事務局へ連絡を行う。
- ・ 調査票の訂正要望は6月あたりまでなら受け入れ可能。